



## 交直流通勤形新型車両 3500系が登場します！

奥武鉄道では2026年内を目途に、新たな交直流通勤形車両、3500系を導入し、老朽化した3000系電車への負担を軽減するとともに、検査時や故障時の冗長性を確保して参ります。



### 3500系電車

軌間 1067mm

編成 6両編成

電気方式：交流20000V(50Hz)/直流1500V両用  
(架空電車線方式)

最高運転速度 営業120km/h 設計130km/h

起動加速度 7.5km/h/s

減速度 7.5km/h/s(常用) 9.0km/h/s(非常)

全長：20,350mm(先頭車), 20,000mm(中間車)

全高：4050mm パンタ付車両4125mm

車体：アルミニウム合金(新造)

台車：新造

駆動系：新造[ロケットカー]

当社の電車車両の中でも最古参となる3000系電車は貴重な交直両用の通勤形電車として永年活躍して参りましたが、老朽化による故障や臨時での点検が多くなり、安定的な運行に支障を来すようになって参りました。そこで奥武鉄道では3000系電車の負担を軽減し冗長性を確保するため、2026年内に交直両用通勤形電車、3500系を6連2編成導入致します。

3500系電車は6500系同様の裾に加え肩部をも絞ったアルミ車体で車両を軽量化し、加減速もより滑らかにして新時代にふさわしいロケットカーとして設計しております。側面窓は6500系同様の大きなものとして眺望を確保しつつ、車内での犯罪や火災など緊急避難を要する際に備えて全ての窓を一段下降式(途中で引っ掛かりがありますが強く下ろすことで最下段まで下ろすことが可能です)の開閉可能な窓としております。外装意匠は河本謙三インダストリアルデザインが監修。これまで同事務所が監修した当社車両のイメージを踏襲しつつも側面には3000系電車デビュー時の塗装のオマージュを採り入れ、正面意匠もエメラルドグリーン主体の塗色を採用するなど、3000系の後継であることを強く意識したものとなります。全体として1050/1070系やキハ400系、450系(2代目)、6500系といった令和期の車両での造形を踏まえた精悍な顔立ちとし、奥武線通勤区間にも、また郊外の交流区間にも馴染む新たな通勤形電車となっております。是非ご期待ください！